

IFTAUPDATE

2020 Volume 27 Issue 3

IN THIS ISSUE

- 1 President's Report to Colleagues
- 2 Member News
- 2 2021 IFTA Conference

Education Lounge

- 5 Beyond the Z-Test: "GSA" Validation of a Trading System and Definition of "Persistence Validation Ratio"
- 13 Congratulations New CFTes
- 13 MFTA and CFTe Exam Dates
- 14 Congratulations New and Re-elected IFTA Board Members
- 15 IFTA 2020 Conference Recordings
- 16 Calendar-at-a-Glance
- 19 2020 Lifetime Achievement Award
- 21 IFTA Journal Call for Submissions
- 23 Member Societies
- 23 Board of Directors

Next Issue: March 2021

Submission Deadline: February 15

Education Lounge articles: Send submissions to newsletter@ifta.org.

All other content: Send submissions to admin@ifta.org.

Advertise in the UPDATE and reach more than 7,000+ IFTA colleagues worldwide. For more information, go to www.ifta.org.

a newsletter for the colleagues of the International Federation of Technical Analysts

会員の皆様への会長レポート



親愛なるIFTA会員の皆様へ

世界は変わりつつあり、私たちも変わりつつあります。会長として初めてのIFTA Update での報告ですが、

既に忘れられない2020年の出来事がありました。今年のIFTA年次大会は多くの点でユニークなものでした。

第1に、オンライン大会であったこと。IFTA創設以来、年次大会はずっといくつかの国の協会が主催し、その国で開催されてきました。しかし、今年はそうではありませんでした。

第2に、IFTA年次大会は金融業界のスケジュールの重要な一部であり、それは変わりませんでしたが、今大会には多くのプライベートアナリスト、投資家、トレーダーも参加しました。

第3に、登録者数・参加者数が例年をはるかに上回りました。FacebookのIFTA2020グループの登録者は4909人、メンバーは3479人。

第3に、登録者数・参加者数が例年をはるかに上回りました。FacebookのIFTA2020グループの登録者は4909人、メンバーは3479人。

大会のデータ分析が示す第4の非常に驚くべき結果は、予想外の地域的シフトです。欧米からの参加者が大多数を占めるというのが大方の予想でしたが、結果は全く逆でした。数字が示しているのは、東南アジアの参加者が大半 — マレーシアが39%、インドネシアが25% — を占めたということです。

驚くべきことに、登録者の86%がIFTA非会員であったという分析結果も出ています。

それでは、この分析結果からどのような結論が導き出せるのでしょうか？ もちろん、いずれ起こると予想されていた西から東へのシフトは、既に起こっているということです。

The IFTA UPDATE is a publication of the International Federation of Technical Analysts, Inc. www.ifta.org, a not-for-profit professional organization incorporated in 1986.

International Federation of Technical Analysts
1300 Piccard Drive, Suite LL 14
Rockville, MD 20850 USA

Email: admin@ifta.org • Phone: +1 240-404-6508

また、IFTAはアジアだけでなく、特にプライベートアナリスト、投資家、トレーダーの領域でも大きなポテンシャルを持つということがわかります。

そして最後の結論は明白です。登録者の86%が非会員であったことが示すように、認知度を高めれば、IFTAは非常に大きなポテンシャルを持っているということです。

これらはすべて前向きな見通しを示しており、一つの問いを投げかけています。IFTA が継続的に認知度を維持したら、何が起こるのでしょうか？

それを共に見出していきましょう。

皆様のご盛運をお祈り申し上げます。

ヴィーラント・アールト、CFTe
IFTA会長